



2026年6月10日

【お知らせ】

会社名 B R A N U 株式会社
代表者名 代表取締役 名富 達也
(コード番号：460A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 C F O 宇都宮 久之
(TEL 03-5413-4820)

建設現場の「品質安全」を担保する独自の AI 制御プロセスに関する特許を出願

建設 DX プラットフォーム事業を展開する BRANU 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：名富 達也、証券コード：460A）は、建設業における安全品質管理の高度化に向け、施工画像をもとに安全品質確認事項のチェックリストを生成する技術に関する特許を出願いたしました。本技術は、AI 活用の拡大における課題である「安全品質の担保」に対し、人による判断を前提としながら AI が確認事項を整理・提示することで、安全品質と生産性の両立を実現するものです。

今後、ブランニューは本技術の特許出願を皮切りに、建設業界における独自の「知財ポートフォリオ（特許戦略）」の構築を本格化させ、市場における競争優位性を強固なものとし、より安全で実効性の高い建設 DX ソリューションを提供してまいります。

詳細は別添をご覧ください。

以上

建設現場の「品質安全」を担保する
独自の AI 制御プロセスに関する特許を出願
～他業界の知見が通用しない、建設特有の「プロセスの複雑性」に対応する
知財戦略を本格始動～

Branu®



建設現場の「品質安全」を担保する
独自の AI 制御プロセスに関する特許を出願

建設 DX プラットフォーム事業を展開する BRANU 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：名富 達也、証券コード：460A、以下ブランニュー）は、建設業界における独自の「知財ポートフォリオ（特許戦略）」の構築を本格化させ、第 1 弾として、建設現場における品質・安全管理の信頼性を飛躍的に高める「建設特化型 AI 制御プロセス」に関する特許を出願したことをお知らせいたします。

■特許申請にいたった背景

建設業界におけるデジタル化や IT 導入が他業界に比べて時間を要してきたのは、単なる遅れではなく、業界特有の複雑さに起因しています。建設現場は、無数のステークホルダーが関わり、現場ごとに異なる動的な変化に対応しながら、熟練職人の手作業による繊細な調整を経て、初めて確かな建築物が出来上がるという高度な世界です。この特殊性は AI 活用においても同様であり、他業界の汎用的な AI 知見やシステムをそのまま当てはめても、建設現場のリアルな課題やリスクに対応することは不可能です。

■現代の建設業界における AI 導入の課題

昨今、様々な AI ソリューションが市場に登場していますが、AI は人間と異なり、「命の価値」や「重大な事故・施工不良への危機感」を自発的に感じることはできません。

現場から得られる数値や画像といった表面的なデジタルデータだけを AI に機械的に判断させることは、施工の品質不良や人命に関わる重大な災害に繋がるハルシネーション（誤判定）のリスクを否定できません。テクノロジーの利便性の裏にある、この「AI の限界」こそが、現場が AI を導入する上での根源的な不安となっていました。

■今回の特許出願の狙い

このような背景から、この度、ブラニューは、この「AIの限界と現場の不安」を解消すべく、新しい特許を出願いたしました。本技術は、現場の表面的なデータからは判別が困難な、品質・安全に関わる潜在的リスクをプロセスの文脈から未然に特定・予防する独自のAI制御システムです。AIに合否の判断を丸投げしてブラックボックス化するのではなく、建設業界特有の複雑なワークフローを学習したAIエージェントが、現場管理者の明確な意思決定と安全確認を多角的にアシストする「セーフティネット」として機能します。

なお、本技術の核心となる具体的なシステムメカニズムおよび搭載プロダクトの詳細については、特許取得（権利化）のタイミングに合わせて、段階的に公開していく予定です。

今後、ブラニューは本技術の特許出願を皮切りに、建設業界における独自の「知財ポートフォリオ（特許戦略）」の構築を本格化させ、市場における競争優位性を強固なものとし、より安全で実効性の高い建設DXソリューションを提供してまいります。

■CPO 町田 剛のコメント

「今回の特許出願は、単一のプロダクトや機能に限定されるものではありません。ブラニューが今後展開していくプラットフォーム全体、すべてのプロダクトラインナップに共通する『安全なAI活用の共通基盤（コアテクノロジー）』を確立したことを意味します。汎用AIでは踏み込めない現場の「見えないリスク」を防ぐ強固な知財を、全プロダクトの共通レイヤーとして押さえたからこそ、私たちは安全性の懸念や模倣リスクに迷うことなく、今後のAI技術の実装・反映スピードを圧倒的に加速させることが可能になります。

現場が『これなら安心して使える』と確信できる次世代の建設AIプロダクトを、領域を問わず、圧倒的なスピード感で市場に送り出してまいります。」

■CAREECON Platform について

「CAREECON Platform」は、建設事業者向けマッチングサイト「CAREECON」とマーケティングから採用管理、施工管理、経営管理まで行える建設業向け統合型ビジネスツール「CAREECON Plus」からなる建設DXプラットフォームです。SMBに特化した機能開発と、導入から運用まで伴走し続けるDXコンサルティングサービスで、契約社数は6,200社（2026年1月末時点）を超えています。

URL：<https://careecon.jp>（CAREECON）

URL：<https://careecon-plus.com/>（CAREECON Plus）

■BRANU 株式会社について

BRANU 株式会社（ブラニュー）は、「建設業界をテクノロジーでアップデートする。」というビジョンのもと、建設DXプラットフォーム「CAREECON Platform（キャリコン）」を通じて建設業界の変革に取り組んでいます。

社名：BRANU 株式会社

証券コード：460A

本社所在地：東京都港区六本木6-1-24 ラピロス六本木 4F

設立：2009年8月18日

代表者：代表取締役 名富 達也

事業内容：建設業向けデジタルトランスフォーメーション事業

URL：<https://branu.jp>（コーポレートサイト）

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

BRANU 株式会社 経営企画室 IR推進チーム 吉田

mail: investorrelations@branu.jp